



かさおか



〃 残暑お見舞い 申し上げます 〃



『ひとよきの涼を求めて』

八月初め、小学一年生の孫とカブトガニ博物館に行きました。館内は冷房が良く効いてまさに天国、ふと子ども新聞部員がカブトガニの幼生を飼育した当時を思い出しました。

平成26年に、かさおか自慢子ども新聞「第9号・生きているカブトガニ」と「第10号・すすく育てカブト君」の2部を発行しましたが、カブトガニ博物館のご理解のもとで20匹の幼生を実際に飼育し、脱皮も観察することができました。餌にする「ブラインシユリンプ」というエビの幼生を孵化させ、食べる様子を熱心に見ていた顔が浮かびます。子ども達にとっても指導者の大人にとっても、わくわくした時間であった様に思います。残念ながら、今年は部員が集まらず休部状態ですが、これまでの活動を振り返る機会につながりました。

まちづくり活動は、地域の皆様のご理解とご協力がなければ進みません。少子高齢化社会が続く中、地域課題の解決のため今後ともお力添えを賜りたいと存じます。厳しい残暑が続きますが、どうかご自愛下さい。

会長



カブトガニの幼生

9月の行事予定



- 9月 3日(月)7:30~
子育て部会・笠小始業式の街頭指導日
- 9月26日(水)18:30~
30年第4回子育て部会を開催予定
- ☆笠岡地区敬老会が開催されます。
9月17日(月)13:00~
笠岡市中央公民館4階集会室

『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地
電話：63-5949
Fax：75-0101
E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp
開館日：月・水・金曜日の
14時~17時まで

☆防災の知識 その⑬

『南海トラフ地震』とは

南海トラフは、四国の南の海底にある水深 4,000m 級の深い溝(トラフ)のことで、非常に活発で大規模な地震発生地帯です。

駿河湾から紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖まで大きな海底の溝が連なっており、太平洋側のフィリピン海プレートが日本列島の下に沈み込んでいる場所になります。

この南海トラフの各所では、マグニチュード 8クラスの巨大地震が約 100年から200年ごとに発生しており、過去、安政東海地震(1854年、安政2年)、東南海地震(1944年、昭和19年)、南海道地震(1946年、昭和21年)はこの沈み込みに関係したもので、おおむね100～150年間隔で繰り返し発生しています。

そして、今後30年以内に起きる確率が、これまでより高い「70%から80%」に見直され、新たに公表されております。

私たちに出来ることは「巨大地震が起こること」を「忘れないで備えること」であり住宅の耐震補強や家具の固定など身の回りの対策を進めることが、自分自身や家族を守ることにつながります。日頃から防災意識を持って、非常持出品などを準備しておきましょう。

南海道地震は昭和21年12月21日午前4時19分すぎに発生しました。この時の笠岡は震度4でしたが、当時の様子を知っている方がおられましたら是非お知らせください。



「秋の交通安全県民運動」

「交通ルール 守るあなたに ありがとう」をスローガンに、9月21日

(金) から9月30日(日)まで秋の

交通安全県民運動が展開されます。

この運動の目的は、交通ルールの遵

守と正しい交通マナーの実践を習

慣づけ、交通事故防止の徹底を図る

もので、交通事故のない明るい地域

づくりに皆様のご協力をお願いい

たします。



編集後記

ヒマワリは、夏の風物詩ともいえる花の一つで、今年もお盆前に咲き出しましたが、連日の猛暑のためか昨年より小ぶりです。

暑さに負けず開いた花を見てみると、元氣やパワーをもらえそうですが、加齢の方が勝っており、実りの秋が待ち遠しい今日この頃です。

I・M

